



DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE
PM SERIES



PERFECTING THE ART OF LIVE SOUND

すべてのアートは、アーティストの内面の想いから発し、波紋のように大きく広がって、観る者や聴く者的心を揺さぶります。中でも音と音楽に情熱を捧げるアーティストとエンジニアは、我々ヤマハが心から応援したい、この上ない存在です。

ヤマハは、この波を生み出し、一人でも多くの観客に想いを届けようとするアーティストと、それをサポートするエンジニアを支えていきます。

DELIVERING ART AROUND THE WORLD

エンジニアを支える上で、ヤマハは決して品質について譲ることはありません。妥協なき音質、操作性、信頼性はもちろん、安心感と操作する歓びをも感じられる製品を提供しなければなりません。エンジニアはアーティストのパフォーマンスを最高の状態で客席に届けることだけに集中できる。RIVAGE PMシリーズは、この理念を最高のレベルで実現し、技術とアート、そして観客とを強く結びつけます。



AN ALL-EMBRACING ECOSYSTEM

RIVAGE PMシリーズに、新たにRIVAGE PM5とRIVAGE PM3、そしてDSPエンジンの新モデルが加わることで、RIVAGE PM10、RIVAGE PM7とともに、5種類のコンソール、3種類のDSPエンジン、2種類のI/Oラックから成るラインナップへと成長しました。これらのコンポーネントを自由に組み合わせて、用途や予算に応じた多様なシステムを作り出すことができます。

5種類のコンソールはすべて、12フェーダー構成、タッチパネル、そしてヤマハ伝統のSelected Channelセクションを備えたインターフェースを搭載。ヤマハデジタルミキサーの使用経験があるエンジニアなら、RIVAGE PMシリーズのコンソールに乗り換えるてもすぐに使いこなすことができます。

全てのRIVAGE PMシリーズコンポーネントは互換性を持ち、新しいコンソールと従来のDSPエンジンやI/Oラックを組み合わせることができます。これらを個別のアプリケーションで動作させるだけではなく、たとえば大規模コンサート用にDSPエンジンを組み合わせてミラーリングすることもできます。

2種類のDSPエンジンと DSP内蔵コンソール

RIVAGE PMシリーズでは、288Input、72Mix、36Matrixを備えたDSP-RX-EX、または120Input、48Mix、24Matrixを備えたDSP-RXをシステム規模に応じて選択できます。また従来のDSP-R10も使用可能であり、いずれも優れたRIVAGE PMサウンドと安定性を誇るDSPエンジンです。DSP-RXをDSP-RX-EX仕様にアップグレードするDSP拡張キット(DEK-DSP-RX)もご用意しています。よりコンパクトなシステムが要求される場面では、DSP内蔵型コンソールのRIVAGE PM7を選択できます。他に必要なコンポーネントは、入出力用のI/Oラックとネットワーク接続用の専用インターフェースカードのみのため、シンプルなシステムを構築できます。デジタルミキシングコンソールCSD-R7は、RIVAGE PM10のコントロールサーフェスCS-R10と同じ大きさで、コントロールレイアウトも同じです。

「ステージで鳴っている、ありのままの音」 を取り込む2種類のI/Oラック



TWINLANe



Dante™

RIVAGE PMシリーズは、2種類のオーディオネットワークそれぞれに対応したI/Oラックを組み合わせて入出力を構成します。オーディオネットワークTWINLANeに対応したI/OラックRPi622/RPi222では、ヤマハ伝統のナチュラルサウンドを極めたアナログ部と、Rupert Neve Designs社のSILKプロセッシングによって音楽的なサウンドを実現したデジタル部、これらから成る「ハイブリッドマイクプリアンプ」を通した音を取り込むことができます。オーディオインターフェースカードHY256-TL/HY256-TL-SMFと組み合わせることで、光ファイバーケーブルによる最大400chのTWINLANeネットワークシステムを構築できます。

Audinate社のオーディオネットワークDanteに対応したI/OラックRiO3224-D2/RiO1608-D2では、「RIVAGE PMシリーズ直系」のナチュラルサウンドを取り込むことができます。オーディオインターフェースカードHY144-D/HY144-D-SRCと組み合わせることによって、自由度の高いDanteネットワークシステムを構築できます。

「ステージで鳴っている、ありのままの音」を取り込む能力が、後にさまざまな方法で行う音の色付けの搖るぎない土台となるのです。



DIGITAL MIXING SYSTEM
RIVAGE
PM SERIES

DIGITAL MIXING SYSTEM

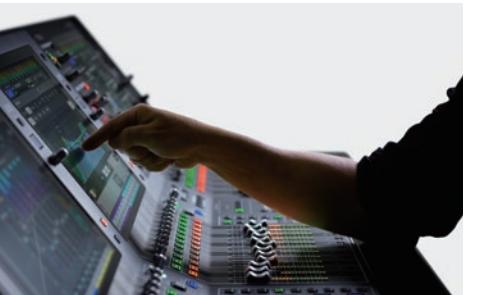
RIVAGE PM5



EVOLVED CONSOLE DESIGN: INCREDIBLY SLIM, LIGHTWEIGHT, AND INTUITIVE

RIVAGE PM5は、RIVAGE PMシリーズならではのパワーと性能を、軽量で直感的操作が可能なボディに凝縮した、驚くほどスリムなコンソールです。RIVAGE PM10やRIVAGE PM7と同等のサウンドと機能を持ち、さらにハードウェアとソフトウェアの改良により新たなミキシング体験を提供します。第3のタッチパネルディスプレイを加えることによってより直感的なインターフェースを実現した42kgという驚異的な軽量コンソールは、あらゆる場所への持ち運びや設置を容易にします。

使いやすいレイアウト、 さらに改善したサイトライン



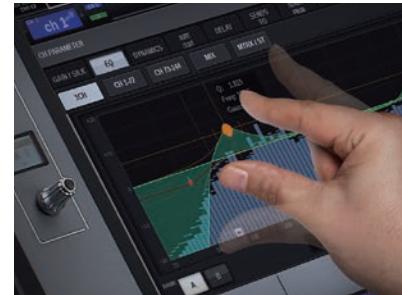
RIVAGE PM5は、タッチパネルをオペレーターに近づけたスリムなデザインを採用。3つのタッチパネルを駆使したスムーズで快適なオペレーションを実現します。さらに、エンジニアのサイトラインが大幅に改善することで、ステージ全体を広くとらえることができ、アーティストとの連携をより高めることができます。

設置しやすく可搬性の高い軽量設計



RIVAGE PM5は、ハードな運用に耐える堅牢性と大きく快適なインターフェースを備える一方で、驚くほど軽量化を実現しました。重量はわずか42kgで、少人数でも容易に運搬、設置することができます。この大幅な軽量化は、最先端の機械設計と、軽量で耐久性の高いアルミニウム素材を採用することで実現しました。

3つの15インチ静電容量式タッチパネル



RIVAGE PM5の優れた機能の多くが3つの15インチタッチパネルに凝縮されています。大型で見やすいタッチパネルには、わかりやすく整理された情報と基本的なコントロール操作子がまとめられており、エンジニアはすばやく効率的に状況を把握して対応できます。基本的なタッチ操作はもちろん、静電容量式タッチパネルによるピンチイン・アウトやスワイプなどのジェスチャーにも対応するなど、タッチパネルの操作性が大幅に向上することにより快適な操作性を提供します。

センドオペレーションの操作性向上



センドオペレーションはあらゆるライブミキシングにおいて重要なワークフローです。RIVAGE PM5ではおなじみのSends on Fader機能やチャンネルリストリップエンコーダーを用いたセンドレベル調整に加えて、User Defined Knobとタッチパネルを組み合わせた新たな操作方法により、エンジニアにとってさらに快適なワークフローを提供します。

伝統のヤマハ Selected Channel セクション



Selected Channelは、これまで多くのヤマハデジタルミキシングコンソールに搭載されており、サウンドエンジニアに愛用され、高い評価を受けてきました。RIVAGE PMシリーズのSelected Channelセクションも同様にデジタルコンソールならではの豊富なパラメータ一群をコンパクトにまとめ、直感的で素早い操作を可能にしました。Selected Channelセクションとタッチパネルを組み合わせることにより、効率的に操作することができます。

視認性の高いフェーダーメーター



フェーダーのそばにレベルメーターを設置したこと、フェーダー操作時のレベル確認の視認性が向上し、よりスムーズで精確なコントロールが可能になりました。このフェーダーメーターはモニタレスモード時のみレベル表示はもちろん、ダイナミクスのゲインリダクションの確認も可能です。

DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE
PM3



THE COMPACT RIVAGE PM CONSOLE FOR MAIN OR MONITOR USE

RIVAGE PM3はRIVAGE PMシリーズの中で最もコンパクトで、幅1,145mm以上のスペースがあれば設置が可能です。コンパクトなボディに収められたRIVAGE PM3の優れた性能は、設置場所に制限のある会場やモニター用途に最適です。RIVAGE PM3は、24個+2個のUser Defined Keyを搭載したシンプルなシングルディスプレイのインターフェースを備えており、様々な機能にアクセスしやすく高速な操作を実現します。コンパクトながら他のRIVAGE PMシリーズと同じ音質、機能、38本のフェーダーを備えており、直感的なミキシングが可能です。



38本のフェーダーを搭載



RIVAGE PM3はRIVAGE PMシリーズで最もコンパクトなモデルながら、38(12+12+12+2)本構成のフェーダーを搭載しています。これは直感的なミキシングを可能にするRIVAGE PMシリーズに共通の構成*で、エンジニアはどのRIVAGE PMシリーズのコンソールでも戸惑うことなく操作できます。

*CS-R10-Sは除く。

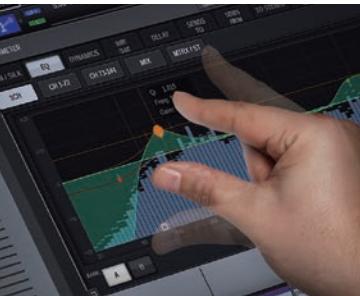


軽量でコンパクトながらも充実の機能



RIVAGE PM3はわずか38kgと軽量で、RIVAGE PMシリーズの中でも最も可搬性に優れた扱いやすいコンソールです。軽量であっても音質や機能は損なわれおらず、他のRIVAGE PMシリーズと同じソフトウェアと操作性を有しており、小型、軽量でシンプルなボディに、あらゆる性能を凝縮しています。

静電容量式の大型タッチパネルとSelected Channelセクション



タッチ感度にも優れた静電容量式タッチパネルの15インチディスプレイを搭載。基本的なタッチ操作だけでなくピンchingアウトやスワイプなどのジェスチャーも使用できるため、操作効率が大幅に向上します。また、ディスプレイはおなじみのヤマハSelected Channelセクションと連動し、基本的な物理操作もコンパクトにまとっています。重要なコントロール項目や情報がわかりやすく整理されて表示されるため、エンジニアは状況をすばやく把握しつつ、直感的な操作が可能です。

センドオペレーションの操作性向上



RIVAGE PM3は、よく使う機能をワンタッチで呼び出せるUser Defined Keyをシリーズ最多の24個+2個装備。より多くの機能を瞬時に呼び出すことが可能で、モニターミキシングなどにおける素早いワークフローにも柔軟に対応できます。

DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE
PM7

DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE
PM10



LUXURIOUS WORKSPACES FOR LARGE-SCALE APPLICATIONS

RIVAGE PMシリーズのコンソールはいずれも同等の機能を備えていますが、用途によってはフルサイズのコンソールが必要になる場面があります。多くのチャンネルや多数のパラメーターをスムーズに操作することを要求される大規模アプリケーションでは、豊富な物理操作子と贅沢なワークスペースを備えたフラッグシップのRIVAGE PM10とRIVAGE PM7が適しています。

ヤマハ Selected Channelセクションを
フル装備



コントロールサーフェスのトップパネル右側には、ヤマハ定番のSelected Channelセクションをフル仕様でレイアウト。SELキー選択したチャンネルの主要なパラメーターをダイレクトに操作できます。左側にはタッチオペレーションに対応した2つの大型液晶タッチパネルを搭載^{*}し、手前へ流れるように繋がるフェーダー面とのコンピネーションにより、定評のあるCentralogicと同様の操作性を実現。これら2つの特長に加え、エンコーダー周りの視認性を向上させるなど、快適かつ確実なオペレーションのためのディテールにも気を配りました。

*CS-R10-Sは1つ

柔軟なモニターセクション



幅広いシミュエーションで使われるライブコンソールでは、モニターセクションの柔軟性も大切な要素の1つです。RIVAGE PMシリーズでは2系統のモニター出力/CUEバスを装備し、モニターソースは最大8つまで保存した組み合わせの中からそれぞれ選択可能。出力レベルの設定も独立して行えます。ここには専用のディレイのほか、8バンドのパラメトリックEQを搭載。EQの直前にプラグインをインサートすることも可能です。このように充実したモニターセクションによって、目的に合わせたモニター環境を柔軟に構築することができます。

エルゴノミクスデザイン



RIVAGE PMシリーズのコンソールはすべて人間工学に基づいて設計しています。操作時はもちろん、運搬時やセットアップの時でもストレスや疲労を最小限に抑えます。ライブパフォーマンスのミキシングにおいてサイトラインも重要なポイントです。RIVAGE PMシリーズのコンソールはステージとアーティストをクリアに見渡せるよう設計しており、エンジニアの位置からの優れた視認性と使いやすさを確保するだけでなく、操作中に視線を大きく動かすことなくステージの様子を見ることができます。

外部ディスプレイをサポート



RIVAGE PM10、RIVAGE PM7は本体の15インチディスプレイとは別に、DVIポートを介して外部ディスプレイを接続することでさらに視認性を向上させることができます。

細部の使い勝手を高める配慮



RIVAGE PM10、RIVAGE PM7の主要エンコーダーにはパラメーター値を示すインジケーターが備わっており、つまみの周りを馬蹄型に組んでいます。ボースューリング^{*}と名付けたこのデザインは、フェーダーストリップのマルチファンクションエンコーダーなどのつまみを手前から見えた場合、インジケーターの12時の位置が隠れないようするなど、視認性に配慮しています。フェーダーノブの形状も特長の1つ。指の部分に置いても確実に心地よい操作感が得られるデザインは、実際使ってみて初めて深く実感できる部分です。

デュアルエンコーダー



RIVAGE PM10、RIVAGE PM7は、各チャンネルに2つのエンコーダーを装備しています。5つの機能を割り当てられるチャンネルストリップエンコーダーと、隣接するタッチパネル上に対応したパラメーターを制御するスクーリングエンコーダーです。物理操作子であるエンコーダーは、リアルタイムでのコントロール時に圧倒的な利便性を提供します。各チャンネルで2つのエンコーダーを使用できるRIVAGE PM10とRIVAGE PM7は極めて優れた操作性を有しています。

RIVAGE PM SERIES PHILOSOPHY AND FEATURES

創造性豊かな音作りの出発点は、無色透明なサウンドです。それがヤマハミキサーの根幹を成す考え方であり、哲学と言ってもいいでしょう。ステージで鳴っている音をありのままに取り込み、そこからさまざまな色付けを行う。これまでヤマハが一貫して追求してきたコンセプトは、RIVAGE PMシリーズでもしっかりと受け継がれています。その土台となるのが、伝統のナチュラルサウンドを極めたアナログ部と、ヤマハ独自のモデリング技術VCMテクノロジーでさらに進化を遂げたデジタル部から成る、新開発の「ハイブリッドマイクプリアンプ」です。特にデジタル段では、Rupert Neve Designs(RND)社のトランスフォーマー回路と、同社のマイクプリでお馴染みのSILKプロセッシングをモデリングすることで、音楽的で空気感豊かなサウンドを実現。各チャンネルのEQ／ダイナミクスも強化し、音作りのバリエーションを大きく広げました。クリエイティブなサウンドづくりをサポートする内蔵プラグインも、さらに進化を遂げています。中でも特に力を注いだのが、高い評価を得ているサードパーティとのコラボレーションです。RND社との共同開発により、70年代＆80年代の名機をVCMテクノロジーで新たにモデリングしたEQおよびコンプレッサーの他、Eventide社とのコラボレーションによるハーモナイザーやリバーブなど、サードパーティとの協業により初めて作りえたプラグインも搭載しています。すべては音楽的なサウンドのために。最上の質感を目指して丹念に積み重ねてきた研究の結果が、RIVAGE PMシリーズの音を形作っているのです。

2種類のオーディオネットワークとI/O

高水準の音質を実現するには、入力回路と音声処理が特に重要です。また、シグナルチェーンの最終段であるアウトプットは、品質を保つ上でも大切な役割を果たします。RIVAGE PMシリーズでは、入出力構成のためにそれぞれ異なるオーディオネットワークに対応する2種類の高性能I/Oラックを用意しています。そのオーディオネットワークのひとつは、96kHzクロリティのオーディオ信号を極めて短いレイテンシーで最大400ch伝送できるヤマハ独自規格のTWINLANeです。I/OラックRPIo622/RPIo222とTWINLANeに対応したオーディオインターフェースカードHY256-TL/HY256-TL-SMFを光ファイバーケーブルを用いて接続することで、TWINLANeネットワークを構築します。I/OラックRPIo622/RPIo222は、高性能なアナログ入力段に加えて、RND社のトランスフォーマー回路とSILKプロセッシング回路を正確にモデリングする高度なデジタル段を備えた「ハイブリッドマイクプリアンプ」を搭載しています。



そしてデジタルミキサー「CL/QLシリーズ」をはじめとする主要なヤマハ製品や、多くのプロオーディオ機器メーカーが採用しているAudinate社のオーディオネットワーク規格Danteとの互換性も備えています。Danteを用いることで、標準的なネットワーク機器上で自由度の高いシステムを構築できます。I/OラックRIO3224-D2/RIO1608-D2、そしてオーディオインターフェースカードHY144-D/HY144-D-SRCはすべてDanteに対応しており、すべてのRIVAGE PMシリーズのシステムと組み合わせて「RIVAGE PMシリーズ直系」のナチュラルサウンドを取り込むことができます。いずれのネットワークソリューションも、余計な色づけを排し、細かなニュアンスを損なうことなく「ステージで鳴っている、ありのままの音」を取り込むことができるため、エンジニアはRIVAGE PMシリーズの創造力豊かな性能を最大限に活かして観客に最高の音を届けることができます。

RND社のPorticoプラグイン

豊富なプラグイン

高度な音声処理技術は、ヤマハデジタルミキサーの大きな強みです。RIVAGE PMシリーズは、名機と呼ばれる古くからの定番モデルを含む幅広いプラグインが使用可能です。RIVAGE PMシリーズは50種類を超えるプラグインを搭載しており、余裕の処理能力を活かしてPortico 5033やPortico 5043といった高精度なプラグインをDSP-R-X、DSP-R10、CSD-R7では最大192インサートできます。また、Eventide社のウルトラハーモナイザーH3000と豊富なプリセットを備えた新しいリバーブSP2016、Dan Duganオートマチックミキサーなども搭載しています。これらの優れたサードパーティ製プラグインは、ヤマハ独自の各種プラグインを補完するとともに、優れた汎用性と処理能力によってエンジニアによる幅広い自由な音作りを可能にします。

RUPERT NEVE DESIGNS



Eventide社のエフェクト



数ある名機と呼ばれるエフェクトを生み出したメーカーの中でも、Eventide社の名は広く知られています。高い評価を得ているウルトラハーモナイザーH3000-Liveと、新しいリバーブSP2016をRIVAGE PMシリーズに搭載しました。あらゆるニーズに応えるべく、正確にエフェクトを調整できるパラメーターを備えているほか、理想的なリバーブをすぐに呼び出すことができるよう各種プリセットを用意しています。

Eventide®



ヤマハ ダイナミックノイズサプレッサーDnSe



独自のアルゴリズムによるオートマチックマイクロフォンミキサーで評判のあるDan Dugan Sound Design社も協業し、RIVAGE PMシリーズではDan Duganオートマチックミキサーを標準搭載しました。セッティングは極めてシンプルで、インプットチャンネルにインサートするだけです。最大64チャンネルのマイク回線のペインティング配分をリアルタイムで自動最適化し、まるで数人の優れたオペレーターが操作をしているかのような自然なレベルコントロールを実現します。さらにハウリングやコムフィルターの発生を削除するなど、さまざまな恩恵も得られ、台本がないスピーチ現場でも、個々のフェーダー操作煩わされることなく、質の高い安定したミックス作業を行えます。



RIVAGE PMシリーズには、ダイナミックノイズサプレッサーDnSeをはじめ、ヤマハ独自のプラグインも幅広く取り揃えています。DnSeはマイクが拾い不要なノイズを自動的に削除できるプラグインです。ノイズ周波特性を分析し自動でパラメーターを設定する高性能なLearn機能により、複雑な設定を行なうことなく、効果的なノイズ抑制のためのセットアップが完了します。

DnSeはその優れた自動検知機能と自動的な仕組みにより、舞台上のささやくような小さな声や微細なニュアンスを残さないままノイズだけを効果的に除去できるため、演劇やミュージカルにおいて大きな効果を発揮します。また、空調ノイズやムービングライトのファンノイズ、ステージモニターからのマイクへの剥り、スポーツイベント時のアナウンスマイクへの観客の声の剥りなども抑制でき、幅広いシーンで利用できるノイズ抑制ツールです。



Dan Dugan Sound Design

OPERATIONAL HIGHLIGHTS

ヤマハは、デジタルミキシングコンソールの操作性を常に重視し、これまでアナログコンソールを使ってきたエンジニアが直感的に操作できるインターフェースを提供すると同時に、デジタルの技術や機能を最大まで高めようと努めてきました。RIVAGE PMシリーズは、このコンセプトを新たなレベルへと高めています。すでに高い評価を得ているインターフェースを拡張して、究極のサウンドをより効率的に、そして容易にもたらすことでエンジニアがサウンドに集中できる安心感と、操作する歓びを提供します。



洗練されたインターフェース

RIVAGE PMシリーズのコンソールのインターフェースで重要なのは業界標準とも言えるヤマハ Selected Channelセクションです。エンジニアは、SELキーで選択した任意のチャンネルのパラメーターにダイレクトに素早くアクセスできます。パネルスペースを最大限に活用した総合的なレイアウト上にエンコーダーやボタン、インジケーターを配置しており、どのような環境やミキシング状況でも快適に操作することができます。

また、RIVAGE PMシリーズのすべてのコントロールサーフェスには12本のフェーダーが3Bay搭載*されており、適宜チャンネルを割り当てることができます。フェーダーグループの一部またはすべてが大型タッチパネルと連動し、進化した「Centralogic」インターフェースによる使い勝手を提供します。チャンネルリストリップはシームレスにタッチパネルへと切り替えて、明快でロゴカルなコントロールを可能にします。12チャンネルごとのグループで各チャンネルを容易に管理できるだけではなく、別々のグループを同時にコントロールするソーマンオペレーションも対応します。

*CS-R10-Sは2Bay

急な変更にも迅速に対応できるオーバーレイフィルター



オーバーレイフィルターは、特にシーンメモリーを多用するエンジニアの使い勝手を向上する機能です。これは現在のミックスのフェーダーレベルとMIX/MATRIX センドレベルにオフセットを付加「重ねる(=Overlay)」し、すべてのシーンリコール操作においてそのオフセット値を保持できる機能です。例えば、予期しない演者の交代があった場合に有効で、作り込んだシーンメモリーに変更を加えることなく一時的に相対的なオフセットレベルを調整し、必要に応じて即座に元の設定に戻すことができます。突然の一時的な変更に対応する際に、大いに役立ちます。

演劇やミュージカルで役立つシアター モード



シアター モードは、主に演劇やミュージカルなどの舞台転換・衣装替などの場面において、パフォーマー毎の適切なEQ/ダイナミクス設定の反映をスムーズに行える機能です。シアター モードではEQ/ダイナミクス設定をシーンメモリーではなく専用の4つのパンクで管理し、パンクごとに調整されたEQ/ダイナミクス設定は全てのシーンメモリーに共通の設定として保持されます。この機能により例えば、1つの役柄に複数のパフォーマーがキャスティングされている場合や、急な交代への変更などの場面にて、素早く適切なEQ/ダイナミクス設定を呼び出すことができるなど、柔軟かつ迅速な対応が可能になります。また、ライブSPRの場面においても、曲調に応じてEQ/ダイナミクス設定を即座に切り替えるような用途で活用できます。

フェイルセーフ用DSPミラーリング



RIVAGE PM10、RIVAGE PM5、RIVAGE PM3はフェイルセーフのためのDSPミラーリングに対応しています。2台の同じDSPエンジンを使用することで、万が一メインのDSPエンジンにトラブルが発生した場合でも、サブのDSPエンジンに切り替えることでショーを止めずに続行することができます。

*RIVAGE PM7は、コンソールCSD-R7にDSPを内蔵しているため、DSPミラーリング非対応となります。

コンソールとのシームレスな連携を実現する各種アプリケーション



RIVAGE PMシリーズのすべての操作機能についてはヤマハプロフェッショナルサイトをご覧ください。

近年のデジタルコンソールでは、外部アプリケーションを用いた「ワイヤレスミキシング」やモニターミキシング、オーディオインターフェースでの事前準備を行えることが一般的になっています。RIVAGE PMシリーズも専用アプリケーションとしてRIVAGE PM StageMix、MonitorMix、RIVAGE PM Editorの3つを用意します。これらもコンソール本体とシームレスに連携し、どのデバイスを使用しても同じ感覚で操作できるように開発、デザインされたユーティリティが特長です。

SYSTEM COMPONENTS

RIVAGE PM10 コアコンポーネント



CS-R10

RIVAGE PM10システム用コントロールサーフェス。大型タッチパネルディスプレイ2面と12フェーダーx3Bay構成を備え、自由度の高いチャンネルレイアウトが可能。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 2 • フェーダー数: 38 (12+12+12+2)
- Selected Channelセクション: フルセレクテッドチャンネル
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5 (V4.0以降)
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 パンク)
- User Defined Knob: 4 (x 4 パンク)
- Touch and Turn Knob: 2
- アナログ入出力: 8 in (SILK) / 8 out • MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 8 in / 8 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), Word Clock Out, MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Video Out (DVI-D), Network (PC), TO ENGINE In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,549 x 417 x 848mm
- 質量: 85 kg



CS-R10-S

RIVAGE PM10システム用コントロールサーフェス。12フェーダーx2Bay構成を採用することで高い操作性はそのままに「CS-R10」の約3分の2のコンパクトサイズを実現。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 1 • フェーダー数: 26 (12+12+2)
- Selected Channelセクション: フルセレクテッドチャンネル
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5 (V4.0以降)
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 パンク)
- User Defined Knob: 4 (x 4 パンク)
- Touch and Turn Knob: 1
- アナログ入出力: 8 in (SILK) / 8 out • MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 8 in / 8 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), Word Clock Out, MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Video Out (DVI-D), Network (PC), TO ENGINE In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,128 x 417 x 848mm
- 質量: 67 kg

RIVAGE PM7 コアコンポーネント



CSD-R7

「CS-R10」と同等のミキシング体験を可能にしつつ、144 Mono Input, 60 Mix, 36 Matrix, 2 Stereoのミキシングキャパシティを備えたRIVAGE PM7システム用DSP内蔵デジタルミキシングコンソール。

*V4.0以降

- ミキシングキャパシティ: 144 Mono Input, 60 Mix, 36 Matrix, 2 Stereo
- ディスプレイ: 15" touch panel x 2 • フェーダー数: 38 (12+12+2+2)
- Selected Channelセクション: フルセレクテッドチャンネル
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5 (V4.0以降)
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 パンク)
- User Defined Knob: 4 (x 4 パンク)
- Touch and Turn Knob: 2
- アナログ入出力: 8 in (SILK) / 8 out • スロット数: MYカードスロット x 3, MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 8 in / 8 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), TC In, Word Clock In/Out, MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Video Out (DVI-D), Network (PC), CONSOLE NETWORK In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,549 x 417 x 848mm
- 質量: 94 kg

RIVAGE PM5 コアコンポーネント



CS-R5

RIVAGE PM5システム用のコントロールサーフェス。驚異的な総合化・サイトラインを実現。第3タッチパネルディスプレイを追加したことでさらに直感的で自由な操作が可能。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 3 (静電容量式) • フェーダー数: 38 (12+12+2+2)
- Selected Channelセクション: Dynamics, Gain, HP, EQ, P.A. Function Knob
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 パンク)
- User Defined Knob: 3 (4 x 4 パンク割当可能)
- Touch and Turn Knob: 3
- アナログ入出力: 8 in / 8 out • MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 4 in / 4 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Network (PC), CONSOLE NETWORK In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,444 x 414 x 643mm
- 質量: 42 kg

SYSTEM COMPONENTS

RIVAGE PM3 コアコンポーネント



DSP エンジン



CS-R3

RIVAGE PM3システム用コントロールサーフェス。シリーズ最小最軽量ながらも12x3Bay構成を実現し、機能と使い勝手を高い次元で両立したコストパフォーマンスに優れたモデル。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 1 (静電容量式)
- フェーダー数: 38 (12+12+12+2)
- Selected Channelセクション: Dynamics, Gain, HPF, EQ, PAN, Function Knob
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5
- User Defined Key: 24個 (12 x 4パンク)+ 2個
- Send/User Defined Knob: 1 (4 x 4 パンク割当可能)
- Touch and Turn Knob: 1
- アナログ入出力: 8 in / 8 out
- MYカードスロット x 2
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Network (PC), CONSOLE NETWORK In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,145 x 385 x 650mm
- 質量: 38 kg

DSP-RX-EX/DSP-RX

RIVAGE PMシステムの信号処理とシステムコントロールを担うDSPエンジン。処理能力の異なる2モデルをラインナップ。

- 96kHzプロセッシング
- DSP-RX-EX: 288 Mono Input, 72 Mix, 36 Matrix, 2 Stereo
- DSP-RX: 120 Mono Input, 48 Mix, 24 Matrix, 2 Stereo
- HYカードスロット x 4
- MYカードスロット x 2
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), TC In, Word Clock In/Out, MIDI In/Out, Remote (RS422/232C), CONSOLE NETWORK In/Out, Fault Output, 2 Network (1 for PC)
- 電源: 二重化電源搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 220 x 491mm
- 質量: DSP-RX-EX: 20 kg, DSP-RX: 19 kg

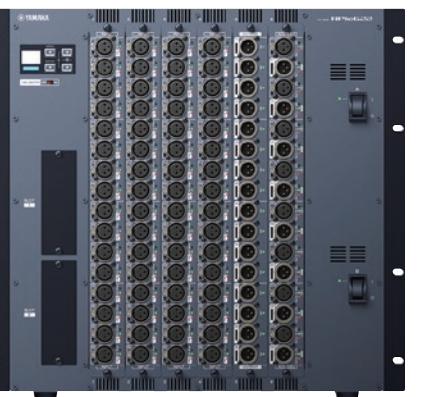
*DSP-RXは別売のシグナルプロセッサーアクセサリーDEK-RX-EXにより、DSP-RX-EXにアップグレードすることが可能

DSP-R10

144Mono Input, 72Mix, 36Matrix, 2Stereoのミキシングキャビティを備えた、RIVAGE PMシステム用DSPエンジン。

※すべてオープンプライス

I/O ラック



RPIo622

システム規模に応じて自由に入出力カードを構成し、TWINLAnEネットワークによる低レイテンシー伝送を実現するRIVAGE PMシステム用I/Oラック。

- アナログ / デジタル入出力を自由に構成可能なRYカードスロットを6基搭載
- 6基のRYカードスロットには、RY16-ML-SILK, RY16-DA, RY16-AEの3種類のRYカードから必要に応じて自由に構築可能
- *RYカードの詳細は次項をご確認ください。
- HYカードスロットを2基搭載。
- HYカードスロット1はTWINLAnEネットワークに対応。HY256-TL/HY256-TL-SMFを装着することで、最大256chの入出力に対応。
- HYカードスロット2はDante/MADIに対応。HY144-D/HY144-D-SRC, HY128-MDを装着することで、最大144chの入出力に対応。
- 2基のMYカードスロットを搭載
- 電源: 二重化電源搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 455 x 489.7mm (10Uラックサイズ)
- 質量: 30 kg



RPIo222

システム規模に応じて自由に入出力カードを構成し、TWINLAnEネットワークによる低レイテンシー伝送を実現するRIVAGE PMシステム用I/Oラック。

- アナログ / デジタル入出力を自由に構成可能なRYカードスロットを2基搭載
- 2基のRYカードスロットには、RY16-ML-SILK, RY16-DA, RY16-AEの3種類のRYカードから必要に応じて自由に構築可能
- *RYカードの詳細は次項をご確認ください。
- HYカードスロットを2基搭載。 HYカードスロット1はTWINLAnEネットワークに対応。HY256-TL/HY256-TL-SMFを装着することで、最大256chの入出力に対応。
- HYカードスロット2はDante/MADIに対応。HY144-D/HY144-D-SRC, HY128-MDを装着することで、最大144chの入出力に対応。
- 2基のMYカードスロットを搭載
- 電源: 二重化電源搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 232 x 491mm (5Uラックサイズ)
- 質量: 19 kg



Rio3224-D2

Danteネットワークによる柔軟かつ容易なシステム構築が可能なI/Oラック。RIVAGE PMシリーズ直系の音楽的でナチュラルなサウンドを実現。

- アナログ32In / 16Out
- AES/EBU8チャンネルデジタル出力
- リダンダント接続、デイジーチェーン接続双方に対応
- 電源: 二重化電源搭載
- ディスプレイ搭載による視認性向上とゲイン等の本体操作に対応
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 220 x 367.5mm
- 質量: 13.5 kg



Rio1608-D2

Danteネットワークによる柔軟かつ容易なシステム構築が可能なI/Oラック。RIVAGE PMシリーズ直系の音楽的でナチュラルなサウンドを実現。

- アナログ16In / 8Out
- リダンダント接続、デイジーチェーン接続双方に対応
- 電源: 二重化電源搭載
- ディスプレイ搭載による視認性向上とゲイン等の本体操作に対応
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 132 x 367.5mm
- 質量: 9.6 kg



SYSTEM COMPONENTS AND SOFTWARE

オーディオインターフェースカード



RY16-ML-SILK

RIVAGE PMシリーズ専用の16chのMic/Line 入力カード。Rupert Neve Designs 社のSILK プロセッシングを全chに搭載。
• 外形寸法 (WxHxD): 405 x 42 x 258mm • 質量: 1.6 kg



RY16-DA

16ch アナログ出力カード。最大出力レベルは、基板上のスイッチを切り替えることで+15dBu, +18dBu, +24dBuに設定可能。
• 外形寸法 (WxHxD): 405 x 42 x 258mm • 質量: 1.5 kg *工場出荷時は+24dBu



RY16-AE

AES/EBU 対応の16ch デジタル入出力カード。すべての入出力にサンプリングレートコンバーター(SRC)を搭載。
• 外形寸法 (WxHxD): 405 x 42 x 258mm • 質量: 1.4 kg



HY256-TL

for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi222

ヤマハ独自のオーディオ伝送ネットワークプロトコルTWINLANeに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大256In/256Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。マルチモードファイバーケーブルを使ったリング接続により冗長性を確保。カード間の最大伝送距離は300mを実現。
• 推奨ケーブル: ノイリック社製「opticalICON DUO」マルチモード光ファイバー • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm • 質量: 0.25 kg



HY256-TL-SMF

for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi222

ヤマハ独自のオーディオ伝送ネットワークプロトコルTWINLANeに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大256In/256Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。シングルモードファイバーケーブルを使ったリング接続でカード間の最大伝送距離は2km、TWINLANe リングの合計ケーブル長は6kmに対応。
• 推奨ケーブル: ノイリック社製「opticalICON DUO」シングルモード光ファイバー • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm • 質量: 0.35 kg



HY144-D

for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi222

オーディオネットワークDanteに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大144In/144Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。
• プライマリー・セカンダリーの2つのコネクタによるリダンダント(二重化)に対応し、デイジーチェーン接続(非二重化)にも対応 • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm • 質量: 0.25 kg



HY144-D-SRC

for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi222

オーディオネットワークDanteに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大144In/144Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。サンプリングレートコンバーター(SRC)により、異なるサンプリング周波数の機器を接続可能。SRCのON/OFF、入出力チャンネル違いで5つのモードでの動作に対応。
• プライマリー・セカンダリーの2つのコネクタによるリダンダント(二重化)に対応し、デイジーチェーン接続(非二重化)にも対応
• モード: 144io (SRCオフ, 144入出力), 144io SyncSRC (SRCオン, 同期, 144入出力), 72io AsyncSRC (SRCオン, 非同期, 144入力、0出力), 144in AsyncSRC (SRCオフ, 非同期, 0入力、144出力) • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm • 質量: 0.25 kg



HY128-MD

for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi222

オーディオフォーマットMADIに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大128In/128Out@48kHz/24bitのデジタル入出力が可能(96kHz 時は最大64チャンネル入出力)。サンプリングレートコンバーター(SRC)により、異なるサンプリング周波数の機器を接続可能。
• MADI回線は同軸とオプティカルによる二重化に対応しており、一方のケーブルが切断された際にも音切れなく運用が可能。 • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm • 質量: 0.45 kg

※すべてオープンプライス

ソフトウェア



RIVAGE PM StageMix

RIVAGE PM StageMixはiPad用アプリケーションで、シンプルで直感的なグラフィカルインターフェースを介して、ワイヤレスの通信範囲内であればどこからでもRIVAGE PMシリーズのリモートコントロールを可能にします。エンジニアがステージ上のパフォーマーの位置からモニターミックスを調整できるように設計されており、別のエンジニアに口頭で指示を出さなくても、ミックスパラメーターをコントロールできます。



MonitorMix

RIVAGE PMシリーズのMonitorMixアプリケーションは、iPhoneやiPad、iPod touchなどのデバイスから最大10台まで同時に使用することができ、各演奏者が手元で自分のモニターミックスを作ることができます。



RIVAGE PM Editor

RIVAGE PM EditorはWindowsまたはMac用のスタンドアロンアプリケーションで、オンラインでの操作とオフラインでの設定および編集の両方に応じています。

Console File Converter

ヤマハ独自のオーディオインターフェースカードは、様々なヤマハデジタルミキシングコンソール間でデータを共有するためのアドベントです。RIVAGE PMシリーズCL/QLシリーズ、PM15、PM17CL/LSの各コンソール間でデータを共有できるよう、別コントローラーを使用していくも、あるいはイベントのデータを別のイベントのために最初からプログラム直す必要はありません。

RIVAGE PM5、RIVAGE PM3 における 64ch Mic/Line 入力、32ch アナログ出力時の基本機器構成

CS-R5でRPiを使用したシステム

CS-R5にDSP-RXとRPi622を組み合わせたTWINLANeネットワークによるRIVAGE PM5システムです。RPi622によりSILKプロセッシングに対応した64ch Mic入力、32chアナログ出力を構成しています。



CS-R5でRio-D2を使用したシステム

CS-R5にDSP-RXとRio3224-D2 (x2台)を組み合わせたTWINLANeネットワークによるRIVAGE PM5システムです。RPi622によりSILKプロセッシングに対応した64ch Mic入力、32chアナログ出力を構成しています。



CS-R3でRPiを使用したシステム

CS-R3にDSP-RXとRio3224-D2 (x2台)を組み合わせたDanteネットワークによるRIVAGE PM3システムです。64chマイク入力、32chアナログ出力を構成しています。



CS-R3でRio-D2を使用したシステム

CS-R3にDSP-RXとRio3224-D2 (x2台)を組み合わせたDanteネットワークによるRIVAGE PM3システムです。64chマイク入力、32chアナログ出力を構成しています。



構成内容

- コントロールサーフェス:CS-R5 x 1台
 - DSPエンジン:DSP-RX x 1台
 - I/O ラック:RPi622 x 1台
(RY16-ML-SILK x 4枚、RY16-DA x 2枚)
 - オーディオインターフェースカード:HY256-TL x 2枚
- ※別途LANケーブル等が必要となります。

構成内容

- コントロールサーフェス:CS-R5 x 1台
 - DSPエンジン:DSP-RX x 1台
 - I/O ラック:Rio3224-D2 x 2台
 - オーディオインターフェースカード:HY256-TL x 2枚
- ※別途LANケーブル等が必要となります。

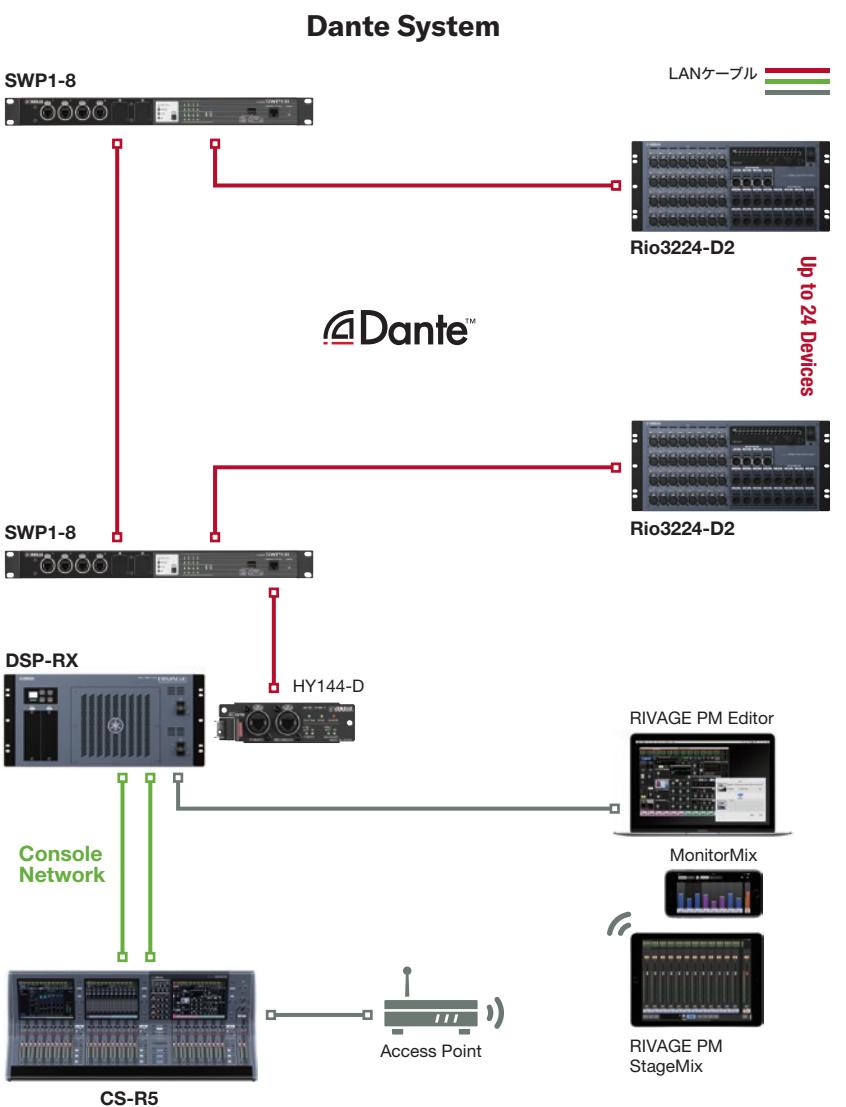
構成内容

- コントロールサーフェス:CS-R3 x 1台
 - DSPエンジン:DSP-RX x 1台
 - I/O ラック:Rio3224-D2 x 2台
 - オーディオインターフェースカード:HY144-D x 1枚
 - オーディオインターフェースカード:HY256-TL x 2枚
- ※別途光ケーブル、LANケーブル等が必要となります。

SYSTEM CONFIGURATION

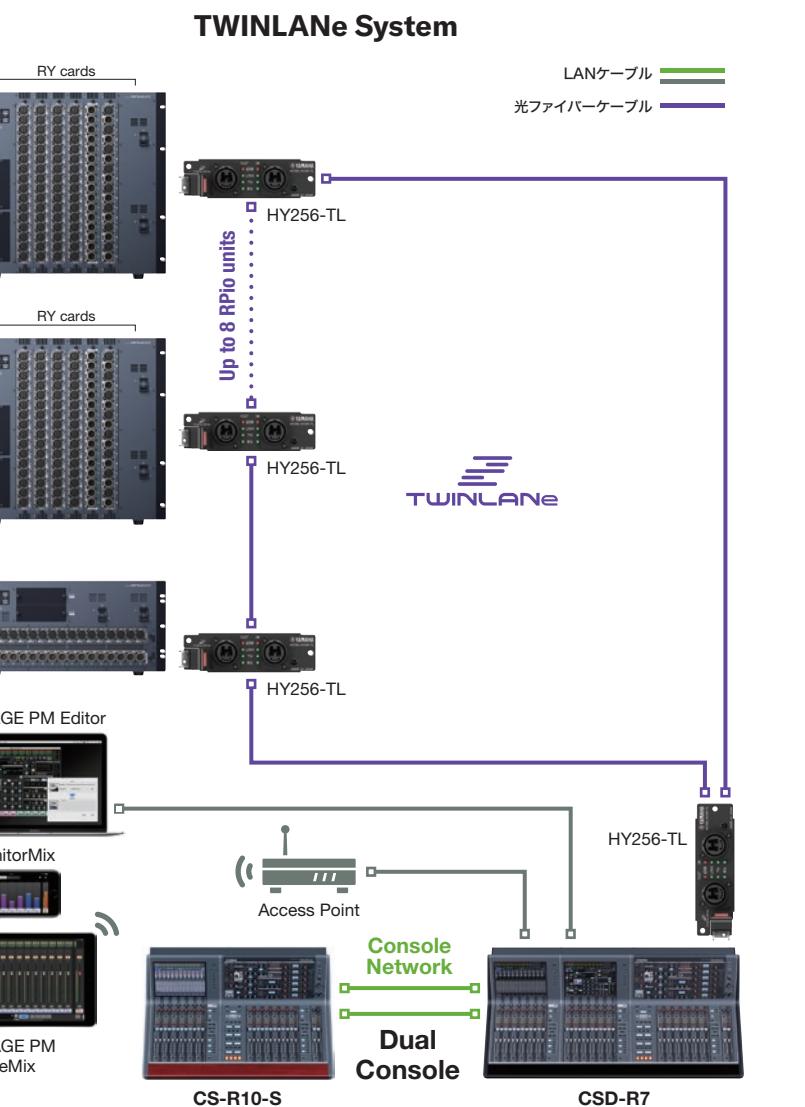
システム構成例 1

RIVAGE PM5システムをDanteネットワークで構成した例です。RIVAGE PM5システムはコントロールサーフェスCS-R5とDSPエンジンDSP-RXを組み合わせた最大120chミキシングキャパシティを構成、Danteネットワークの入出力はDanteに対応したインターフェースカードHY144-DとI/OラックRio3224-Dを組み合わせた64Mic/Line Inを構成したシステムです。RIVAGE PMシリーズにおけるDanteシステムの基本となる構成例であり、RIVAGE PM3等にも応用できます。また、対応するDante機器は最大48台(HYカードスロット1につき最大24台)までマウント可能です。



構成例 2

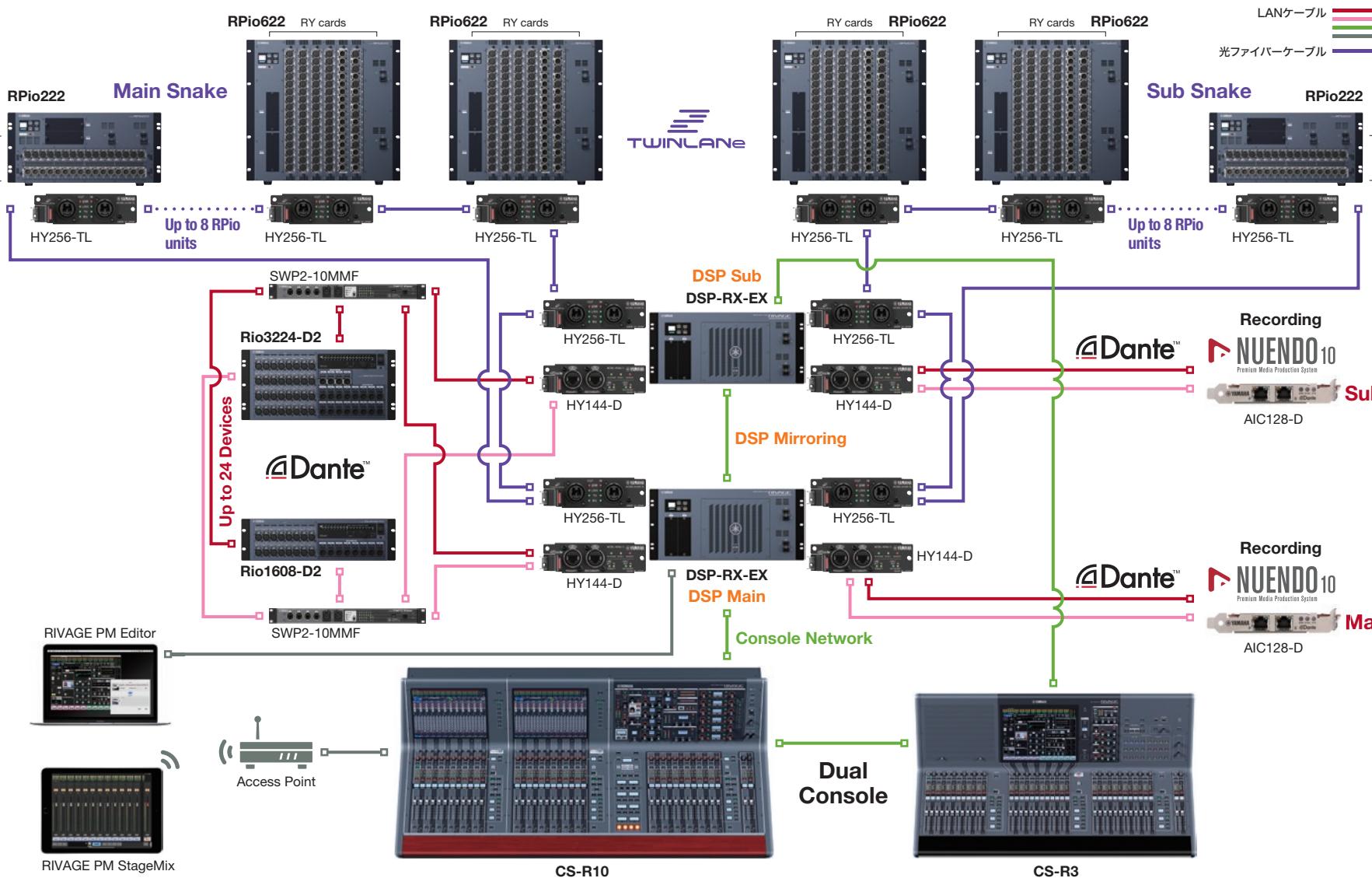
7システムをTWINLANeネットワークで構成した例です。CSD-R7はDSPエンジンを搭載してシンプルなシステム構築を得意とします。コントロールサーフェスおよびI/OラックのRPi622/TWINLANe対応のインターフェースカードHY256-TLをそれぞれ装着し、これらを光ケーブル接続することで、ケーブル切断などのトラブルに対して冗長性の高いTWINLANeネットワークを構成します。さらにコントロールサーフェスCS-R10-Sを接続することで、フェーダー数の拡張や複数名前など、より高い自由度を持ったシステムを構築することができます。



システム構成例 3

RIVAGE PMシステムでは、TWINLANeネットワークとDanteネットワークをひとつつのRIVAGE PMシステムに接続することが可能です。RPIo622/RPIo222は最大8台、RIO3224-D2/RIO1608-D2は他の対応Danteデバイスを含め最大48台(HYカードスロット1つにつき最大24台)までマウントできます。すべてのコンポーネントは2台の電源ユニットを内蔵し、電源の二重化を行っている他、下記システムではDSPミラーリングも構築しており、トラフィックに対する冗長性を更に高めています。RIVAGE PMシリーズではTWINLANeネットワークを2系統(Main Sna

およびSub Snake)設定できるため、I/Oラックの設置場所が多岐にわたりRPIoが8台では不足する場合や、システムの管理体系をシンプルに分けたい場合に利用できます。また、他のヤマハデジタルミキシングコンソールRIVAGE PM EditorやRIVAGE PM StageMix、MonitorMixなどのアプリケーションに対応しており、自由度の高いリモートコントロールが可能です。マルチトラックレコーディングを行う場合は、Danteを使用し、Dante Accelerator(PCIeカード)を装着したコンピューターで最大128In/128Out(Fs=96kHz)のレコーディング環境を構築できます。



FUNCTIONAL SPECIFICATIONS

	RIVAGE PM10 (CS-R10)	RIVAGE PM10 (CS-R10-S)	RIVAGE PM7 (CSD-R7)	RIVAGE PM5 (CS-R5)	RIVAGE PM3 (CS-R3)
ミキシング キャパシティ	DSP-RX-EX	288	-	-	288
	インプットミキシング チャンネル	DSP-RX	120	-	120
	DSP-R10	144	-	-	144
	Internal	-	144 (V4.0 以降)	-	-
	Mixバス	DSP-RX-EX	72	-	72
	DSP-RX	48	-	-	48
	DSP-R10	72	-	-	72
	Internal	-	60	-	-
	Matrix	DSP-RX-EX	36 (Input to Matrix 対応)	-	36 (Input to Matrix 対応)
	DSP-RX	24 (Input to Matrix 対応)	-	-	24 (Input to Matrix 対応)
ローカル コネクター	DSP-R10	36 (Input to Matrix 対応)	-	-	36 (Input to Matrix 対応)
	Internal	-	36 (Input to Matrix 対応/V4.0 以降)	-	-
	Stereoバス		2		
	Mono		1		
	Cue		2		
	アナログ	in	8 (SILK)		8
		out	8		
	デジタル	AES IN	8	4	-
		AES OUT	8	4	-
	スロット	HY	4 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	3	4 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)
シーン メモリー	MY	2+2 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	2	2+2 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	
	GPI	IN	8 (コンソール、DSP エンジンとともに)	8	8 (コンソール、DSP エンジンとともに)
	OUT	8 (コンソール、DSP エンジンとともに)	8	8 (コンソール、DSP エンジンとともに)	
	ワードクロックI/O	IN (DSP エンジン)/OUT (コンソール、DSP エンジン)	IN/OUT		IN/OUT (DSP エンジン)
	MIDI I/O	IN/OUT (コンソール、DSP エンジンとともに)	IN/OUT		IN/OUT (コンソール、DSP エンジンとともに)
	USB	File	4		
		rec/play	1		
	二重化電源	Yes (コンソールおよび DSP エンジン)	Yes (コンソール)		Yes (コンソールおよび DSP エンジン)
	メーターブリッジ		On screen		
	ランプ	4	3	4	3
インプット チャンネル 機能	Talkback In		Yes		No
	Video Out		Yes		No
	TC In	Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	Yes		Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)
	Fault Output	Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	Yes		Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)
	Phones	2 x 2 connectors		2 connectors	1 connectors
	AC電源入力		2 (V-Lock Type) 1000		
	シーン数		1000		
	リコールセーフ		Yes		
	フォーカスリコール		Yes		
	フェードタイム		Yes (0s ~ 60s)		

	RIVAGE PM10 (CS-R10)	RIVAGE PM10 (CS-R10-S)	RIVAGE PM7 (CSD-R7)	RIVAGE PM5 (CS-R5)	RIVAGE PM3 (CS-R3)
インプット チャンネル 機能	DCAグループ		8 Band Full PEQ (アッテネーター、RTA オーバーレイ、4 種類のアルゴリズムを搭載)		
	DCAロールアウト		Yes		
	MUTEグループ		12		
	インサート数		4 x 2 系統		
	ダイレクトアウト		Yes		
	PEQ		8 Band Full PEQ		
	GEQ		Plug-in		
	ダイナミクス1		Legacy Comp / Comp260 / Gate / De-Esser / Expander / Ducking		
	アウトプットディレイ		Yes (0ms ~ 1000ms)		
	MUTEグループ		12		
プラグイン	インサート数		4 x 2 系統		
	スロット数	DSP-RX-EX	512	-	512
		DSP-RX / Internal		384	
	エフェクトプログラム数			50 以上	
	GEQ ラック数			48	
	マウント可能なデバイス		31BandGEQ / Flex15GEQ / 8Band PEQ (RTA 表示に対応)		
	入出力チャンネル数		256 in / 256 out (with HY256-TL/HY256-TL-SMF)@1port		
	Dante	入出力チャンネル数	144 in / 144 out (with HY144-D/HY144-D-SRC)@1port		
	レコーディング	USB メモリーレコーディング		Yes (with HY144-D/HY144-D-SRC)	
	Dante	Dante Virtual Soundcard			
プロード キャスト機能	5.1 サラウンドパンニング		Yes		
	サラウンドモニター		Yes		
	ミックスマイナス		Yes		
	Solo Mode		Yes		
	オシレーター		Sine Wave 1ch / Sine Wave 2ch / Pink Noise / Burst Noise		
	Port to Port		Yes		
	デュアルコンソール		Yes		
	DSP ミラーリング		Yes		
	タイムコードリーダー/ディスプレイ		Yes		
	タイムコードチェック(イベントリスト)		Yes		
その他の機能	GPI/MIDI		Yes		
	RTA		Yes		
	アウトプットポートディレイ		Yes (0ms ~ 1000ms)		
	Mix/Matrix to Input		Yes		
	Sub In		Yes		
	シアターモード		Yes		
	ディスプレイ	15 inch Touch Panel x 2	15 inch Touch Panel x 1	15 inch Touch Panel x 2	静電容量式 15 inch Touch Panel x 3
	Centralologic セクション			Yes	静電容量式 15 inch Touch Panel x 1
	フェーダー構成	12 + 12 + 12 + 2	12 + 12 + 2		12 + 12 + 12 + 2
	セレクテッドチャンネルエンコーダー		All Parameters		Dynamics, G, A, IN, HI, PF, EQ, PA, AF, Function, Kbd
ユーザー インターフェース	チャンネルエンコーダー			Yes	
	チャンネルネーム / カラーディスプレイ		Yes		
	カスタムフェーダーバンク		Yes (各ペイ上に 6 x 5 / V4.0 以降)		Yes (各ペイ上に 6 x 5)
	User Defined Key		12 個 (12 x 4 バンク)		24 個 (24 x 4 バンク) + 2 個
	User Defined Knob		4 (x 4 バンク)		3 (4 x 4 バンク割可)
	Touch and Turn Knob	Yes (2)	Yes (1)	Yes (2)	Yes (3)
	Monitor Level Knob			Yes (2: A and B)	Yes (1)
	木製アームレスト			Yes	
	Editor ソフトウェア			RIVAGE PM Editor	
	StageMix			RIVAGE PM StageMix	
ソフトウェア	MonitorMix			Yes (V4.0 以降)	
	Console File Converter			Yes	
付属品		電源コード x 2、ダストカバー、 照明ランプ LA1L x 4	電源コード x 2、ダストカバー、 照明ランプ LA1L x 3	電源コード x 2、ダストカバー、 照明ランプ LA1L x 4	電源コード x 2、ダストカバー、 Nuendo Live2
					Nuendo Live2

